

『御堂筋エリア』（御堂筋イルミネーション）紹介

イルミネーションデザイン

車道中央2列をイチヨウの幹を強調した「光の列柱」とし、また、枝に光の星屑をちりばめた「星屑イルミ」を歩道側すべてに配置することによって、御堂筋の長い見通しの景観を活かしつつ、降り注ぐ星屑の量を増やして、一段と華やかさが増すデザインにしています。

また、エリアごとにまとまった色調にし、昨年好評だった「御堂筋コーラル」（珊瑚色）を淀屋橋側のエリアに移して拡大し、中央大通りから南には、新色の「スノーホワイト」と「水都ブルー」が登場します。

なお、配置デザインの工夫により、LEDの球数を昨年度よりも20%削減して約88万球にしました。昨年度の1日あたりの電気料金は約11,600円、電力消費量は403Kwhで、1世帯あたりの1か月の電力消費量と同程度でした。今年度は約9,000円程度と想定しています。

土佐堀通	御堂筋コーラル	平野町3	御堂筋イエロー	本町通	冬の桜	中央大通	スノーホワイト	南久宝寺町3	水都ブルー	長堀通
------	---------	------	---------	-----	-----	------	---------	--------	-------	-----

【水都ブルー】（南久宝地町3丁目交差点～長堀通）



水の都大阪をイメージしたオリジナルブルーのイルミネーション。水色をミックスした鮮やかな新色が心齋橋エリアに登場します。





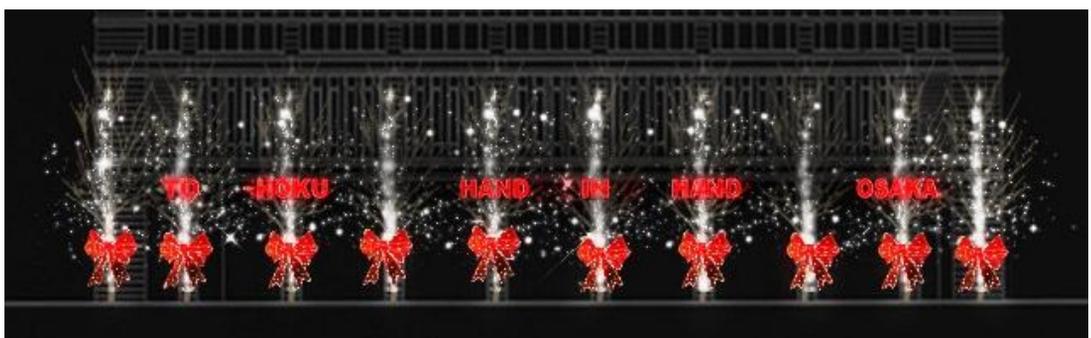
【スノーホワイト】（中央大通～南久宝地町3丁目交差点）

東北の雪をイメージしたホワイトで装飾。となりの「水都ブルー」とあわせて、東北から大阪へ、大阪から東北への交流をイメージする。



【東北復興応援メッセージ】（本町南ガーデンシティ）

今年度も東日本大震災の被災地の復興を祈り、「TOHOKU HAND IN HAND OSAKA」という応援メッセージサインを紅白で装飾します。



【御堂筋コーラル】（珊瑚色）（土佐掘通～平野町3丁目交差点）

昨年度、心齋橋付近に新色で初登場したが、好評だったため、今年度は淀屋橋付近に配置してエリアも拡大します。これまで「御堂筋イエロー」だった淀屋橋付近が以前とは違った華やかな雰囲気になります。



【御堂筋イエロー】

（平野町3丁目交差点～本町通）

落ち着いたオフィス街が広がるエリアでは、御堂筋の秋のイチョウをイメージした「御堂筋イエロー」で装飾します。



【冬の桜】

（本町通～中央大通）

本町付近では、樹木の中央から外側に向かってグラデーションをつける装飾で桜の花をイメージした「冬の桜」が今年も咲きます。



ビル等ライトアップ・イルミネーション

イチョウ並木のイルミネーションとともに、御堂筋沿いのビルや寺社をライトアップして壮大な景観を創出しています。

今年度は、新たに伊藤忠・センタービルの緑地帯にスノーホワイトでイルミネーションを装飾します。

【石原ビル】



【野村ビル】



【伊藤忠ビル・センタービル】



【南御堂】



【難波神社】



【野村ビル】

【伊藤忠ビル・センタービル】



【石原ビル】

【南御堂】

【難波神社】

写真撮影スポット

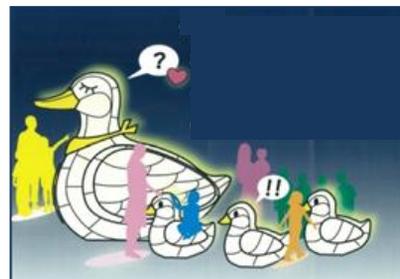
御堂筋イルミネーションの思い出に、記念撮影ができるスポット。公募でデザインを募集し、選ばれた5作品の光のオブジェを沿道ビル前に展示しています。

「花」や「きのこ」、「アヒル」などのバラエティあふれる光の作品が新しく登場しますので、思い出の1枚をカメラにおさめてください。

【青い鳥】
(設置場所：淀屋橋odona)



【笑顔のお母さん】
(設置場所：京阪神御堂筋ビル)



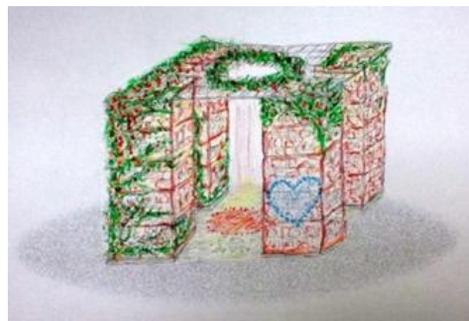
【幸せのフラワーメッセージ】
(設置場所：本町ガーデンシティ)



【きのこ家族】
(本町南ガーデンシティ)



【永遠の愛と復興の門】
(エプソン大阪ビル)



【笑顔のお母さん】

【幸せのフラワーメッセージ】

【きのこ家族】



【青い鳥】

【永遠の愛と復興の門】



御堂筋イルミネーションで光輝くイチョウの木に関心を持ち、心に残る思い出をつくっていただくため、申込のあった方からのメッセージと名前等を書き込んだ「プレート」を、実施期間中、御堂筋歩道のイチョウの木に取り付けてLEDで光らせます。

今年度新たに実施するもので、御堂筋イルミネーションに新しい魅力が加わります。

【プレート イメージ】



プレート

